

## 地震への備え

### 家族と話し合っていますか？

- 災害時に、家族間でどのように連絡をとるか決めておきましょう。
- 災害時に、避難する場所や集合する場所を決めておきましょう。

家族で話し合い、いざというときの避難場所を記入し、みんなが分かる場所に保管しましょう

いっつき避難場所は

広域避難場所は

地域防災拠点は

離ればなれになったときの集合場所は

### 家の安全対策

- 大きな地震が発生した時、家具が倒れたり物が散乱したりします。家具を固定したり、配置を工夫したりしましょう。
- 家具転倒防止器具の一例として、L字金具やつっぱり棒、粘着マットなどがあります。
- 重いものは棚の下に入れるなど、高いところに置かないようにしましょう。

### 家具類の転倒防止器具 (例)

L字金具、ベルト (壁に強度が必要) つっぱり棒 (天井に強度が必要) 粘着マット (有効期限に注意)

### 防災用品の準備

#### 備蓄品や非常持出品を準備していますか？

- 災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。家族構成を考えて、必要の備蓄品を準備しておきましょう。
- また、すぐ取り出せるように非常持出品を準備しておきましょう。
- 備蓄する量の目安は最低3日分(できれば1週間分)です。
- 家族構成や生活スタイルにあわせて、食料や日用品を少し多く買い備えて、備えたものを順番に使いながら新たに買っていく循環型備蓄(ローリングストック)という考え方もあります。

#### 備蓄品

- 飲料水: 1人3日分で9リットル目安。(例)3人家族の場合 3人×9日×3リットル=81リットル
- 食料品: クラッカーなど調理せずに食べられるもの、缶詰(缶切りが不要なもの)など
- トイレパック: 1日あたりの平均排泄量は5リットル程度です。1人3日分では15リットル程度です。

#### 非常持出品

- 懐中電灯・ランタン: 予備電池も用意しましょう。
- 携帯ラジオ: AM、FM両方聞けるものを用意し、予備電池も用意しましょう。
- 貴重品: 現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証
- その他: 紙、紙コップ、救急薬品(ばんそうこうなど)、常備薬、お茶、お菓子、おむつ、ウェットティッシュ、生理用品、ビニール袋、タオル、お風呂用、歯ブラシ、お風呂用、お風呂用、ヘルメット、厚底の運動靴

### こんな家庭にはこんな非常持出品も!

- 乳幼児がいる家庭で用意するもの: ミルク(液体ミルク)、おむつ、お風呂用、お風呂用、お風呂用、お風呂用
- 要介護者のいる家庭で用意するもの: 介護用品、お茶、お菓子、お風呂用、お風呂用
- 妊婦のいる家庭で用意するもの: お茶、お菓子、お風呂用、お風呂用

### 避難ルートや連絡方法の確認

いざというときに、安全に避難できるよう、いっつき避難場所や地域防災拠点への安全な避難ルートを確認しておきましょう。

また、家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所などについても決めておきましょう。

## 地震が起きたら

### 地震3原則

- 1 その場にあった身の安全
- 2 ずばやく火の始末
- 3 とさり近所の助け合い

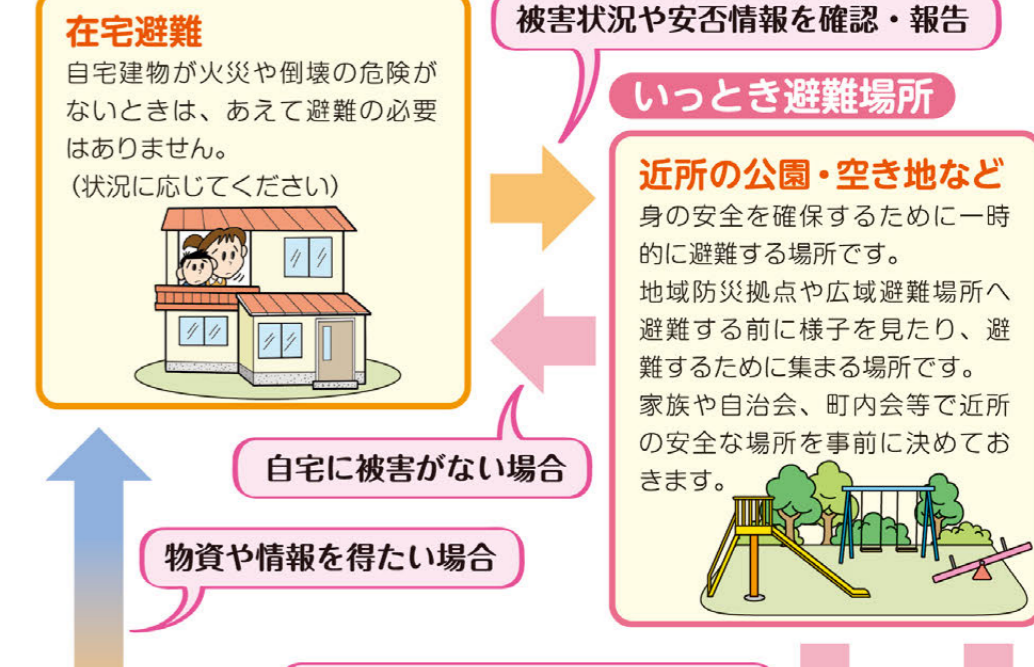
まずは身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子をみましょう!

火を使っているときは、揺れがおさまってからあわてずに火の始末をしましょう! 出火したときは落ち着いて消火しましょう。

確かめ合おう! わが家の安全。となりの安否。

となり近所の協力は大きな力になります。

## 地震発生



### 避難施設一覧

#### 津波避難施設一覧表 (磯子区)

番号	施設名	所在地	備註
1	磯子区役所	磯子3-5-1	磯子3-5-1
2	磯子小学校	磯子11-1	磯子11-1
3	磯子消防署	磯子2-1-3	磯子2-1-3
4	磯子地区センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
5	磯子住宅	磯子3-4-23	磯子3-4-23
6	市営磯子住宅	磯子3-8	磯子3-8
7	新杉田住宅	新杉田町8-7	新杉田町8-7
8	杉田小学校	杉田町8-1	杉田町8-1

#### 児童福祉施設一覧表 (磯子区)

番号	施設名	所在地	備註
1	屏風浦児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
2	磯子児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
3	磯子児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
4	磯子児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
5	磯子児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
6	磯子児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5
7	磯子児童センター	磯子3-14-5	磯子3-14-5

### 津波からの避難について

#### 津波避難の基本

### より早く、より高い場所への避難

地震による大きな揺れを感じたり、津波警報などの情報を得た時は、ただちに、●海抜5m以上の高台もしくは、●鉄筋コンクリートまたは鉄骨鉄筋コンクリート造の頑丈な建物の3階以上を自宅に避難してください。

できるだけ早く、より高い場所へ避難してください。

- さらに高いところへ避難できるような場所に避難してください。
- 建物に避難する場合は、津波による船舶などの漂流物を考慮して、海に面する建物を1列目とすると、1列目より2列目、3列目の建物に避難してください。
- 地下街や地下室などは、浸水するおそれが高いため、津波警報などが発表された場合は、速やかに近くのビルの上層や高台などの、安全な場所に避難してください。
- 避難する時は、周囲に声をかける、手をひいて逃げると、その場の状況でできる「助け合い」をしましょう。
- 車の避難については、避難する車で渋滞が発生し、立ち往生した車が津波に襲われることがあります。狭い道路で車が立ち往生した場合は、徒歩で避難している人の助けになる可能性があります。
- 一方で、高齢者や身体が不自由な方など、車での避難が必要な方もいます。このような方々が早く避難するためにも、車を使わず避難できる方は、車を使用しないようご協力をお願いします。

### 災害時のペット対策

災害発生時に円滑に対応できる家族や地域で相談し、準備をしておきましょう。

- まずは飼い主が無事でなく、ペットを守れるように、ペットを家族として大切に育てておきましょう。ケージやキャリーケースの転倒防止対策など、自宅の防災対策を強化し備えましょう。
- ペット用の持出品を準備しておきましょう。

#### ペット用の持出品 (例)

- ペットフード
- ペット用品 (おしぼり、おしぼり、おしぼり)
- ケージ
- キャリーケース
- 常備薬
- 首輪・リード (伸びないもの)
- トイレ用品 (ペットシートやポットなど)
- 油性ペン・ガムテープ

●飼い主がわかるよう、産乳と狂犬病予防注射済票(犬の舎合)、マイクロチップや迷子札をしっかりと装着しておきましょう。

### NTT災害時伝言ダイヤル171

災害時には、安否確認、問合せなどの電報が集中し、電話がつながりません。そのような時、この伝言ダイヤル171を使って、家族や友人に伝言を届けることができます。

#### ご利用方法

伝言の登録方法

伝言の再生方法

伝言の削除方法

伝言の再登録方法

### 津波への備え

- 1 普段自分がある場所の高さの確認
- 2 避難場所の把握
- 3 避難に必要な時間の確認
- 4 避難経路の確認
- 5 「より早く」スムーズな避難の準備

※その他、家・家具の高さや安否確認方法の確認といった、地震への対策も、津波への備えとなります。

### 情報を集めよう

災害時はいち早く正確な情報入手することが不可欠です。テレビやラジオに加え、以下の手段でも情報収集することができます。

- 区内の危険箇所を事前にチェック!
- 緊急エリアへ一斉配信!
- いろいろな防災情報を集約!
- 緊急速報メール

### 福祉避難所

高齢者や障害者などのうち、避難生活で特別な配慮が必要である人のための二次的避難所です。

### 広域避難場所

地震による大規模な火災による熱や煙から生命・身体を守るために、一時的に避難する場所です。